

年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド 〈愛称 DC Iグロース〉

運用報告書(全体版)

第19期(決算日 2020年4月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド」は、2020年4月27日に第19期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2001年10月25日から原則無期限です。	
運用方針	主として「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI-KOKUSA I インデックス(円ヘッジなし・円ベース)」を上回る投資成果をめざします。	
主要運用対象	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<958417>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	期 騰落	(ベンチマーク)	期 騰落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
15期(2016年4月25日)	16,349	10	△11.0	235.74	△9.7	93.3	1.6	979
16期(2017年4月25日)	18,570	10	13.6	265.92	12.8	94.7	1.6	1,209
17期(2018年4月25日)	22,032	10	18.7	298.66	12.3	93.2	1.5	1,577
18期(2019年4月25日)	24,705	10	12.2	333.54	11.7	94.4	2.7	2,028
19期(2020年4月27日)	23,805	10	△3.6	299.92	△10.1	91.3	3.0	2,173

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「MSCI-KOKUSAIインデックス」は、「MSCI Inc.」が発表している、日本を除く世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の(円ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2020年4月27日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 証券組入比率
	騰落率	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2019年4月25日	円 24,705	% —	333.54	% —	% 94.4	% 2.7
4月末	24,700	△0.0	331.55	△0.6	94.5	2.7
5月末	22,921	△7.2	310.65	△6.9	92.5	2.9
6月末	23,777	△3.8	321.93	△3.5	90.3	2.8
7月末	24,517	△0.8	330.68	△0.9	90.9	2.7
8月末	22,909	△7.3	314.51	△5.7	90.6	3.2
9月末	23,035	△6.8	324.65	△2.7	90.5	3.2
10月末	24,040	△2.7	337.19	1.1	90.5	3.0
11月末	25,071	1.5	350.11	5.0	91.2	3.0
12月末	25,901	4.8	360.66	8.1	92.5	3.0
2020年1月末	26,124	5.7	361.29	8.3	92.0	2.9
2月末	24,546	△0.6	333.01	△0.2	92.2	3.1
3月末	22,283	△9.8	283.44	△15.0	90.0	3.0
(期末) 2020年4月27日	23,815	△3.6	299.92	△10.1	91.3	3.0

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

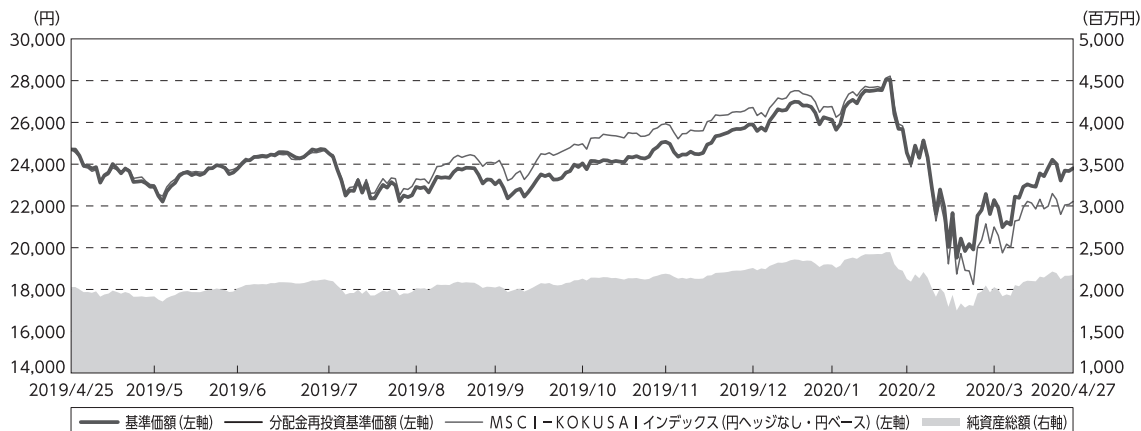
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2019年4月26日～2020年4月27日)

期中の基準価額等の推移



期首：24,705円

期末：23,805円 (既払分配金 (税込み) : 10円)

騰落率：△3.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI-KOKUSA Iインデックス (円ヘッジなし・円ベース) は、期首 (2019年4月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI-KOKUSA Iインデックス (円ヘッジなし・円ベース) は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な観点から、MSCI-KOKUSA Iインデックス (円ヘッジなし・円ベース) の動きを上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米中貿易摩擦の問題は期間を通じて市場にマイナスの影響を与えたものの、2019年10月の米中閣僚級協議における部分合意により過度な悲観が後退し、投資家心理が強気に傾いたこと。
- ・世界経済の下振れリスクに備えて、世界の主要中央銀行が金融緩和姿勢を強めたことが好感され、市場の下支えとなったこと。

<値下がり要因>

- ・米中貿易摩擦や世界景気の減速懸念、欧州や香港の政治的混乱によるリスクが意識され、先行き不透明感が重しとなったこと。
- ・新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大を背景に、世界経済への深刻な打撃が長期化することが懸念されたこと。また、供給過剰懸念から原油価格が大幅に下落したこと。

投資環境

(株式市況)

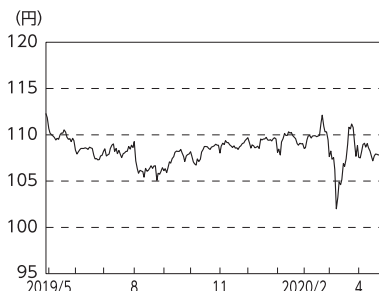
期間中のグローバル株式市場は、期間の初めと比べて下落しました。

期間の前半は、米国による対中制裁関税の引き上げなどを契機とした世界景気の減速懸念、一方で主要中央銀行の金融緩和姿勢の強まりなど、強弱材料が交錯し、株価の変動が高まりました。その後、欧米の中央銀行による金融緩和観測を支えに上昇に転じた後は、米中貿易協議の進展期待から市場心理が好転するなか、堅調な米国の個人消費や企業業績などの好材料に強く反応する流れが続き、上昇基調で推移しました。また、世界経済の下振れリスクに備えて世界の主要中央銀行が緩和継続姿勢を表明したことから買いの安心感が広がり、指数は連日で過去最高値を更新しました。2020年1月下旬に中国で新型コロナウイルスの感染が確認されましたが、当初市場はこの感染症の流行を重要視していませんでした。その後、イタリアやイランなどアジア以外の地域における急激な感染拡大を受け、供給網の混乱や消費低迷による世界経済の減速懸念が台頭し、投資家心理は弱気に傾きました。3月に入ると、世界規模での感染拡大を背景に世界経済への深刻な打撃が長期化することが懸念されたこと、加えて供給過剰懸念から原油価格が大幅に下落したことを受け、リスク回避の売りが加速し急落、パニック売りが連鎖し歴史的な株価急落に見舞われました。これに対し各国政府が協調して緊急の大型景気刺激策を発表すると、これを好感した買いが下値を支え、期間末に向けて下落幅が縮小しました。

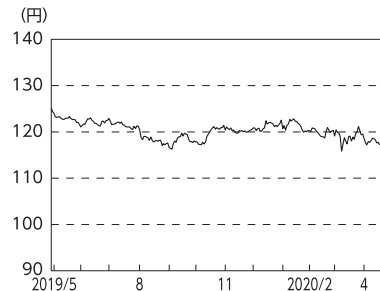
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSA Iインデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないました。銘柄選定においては、原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力しました。

また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

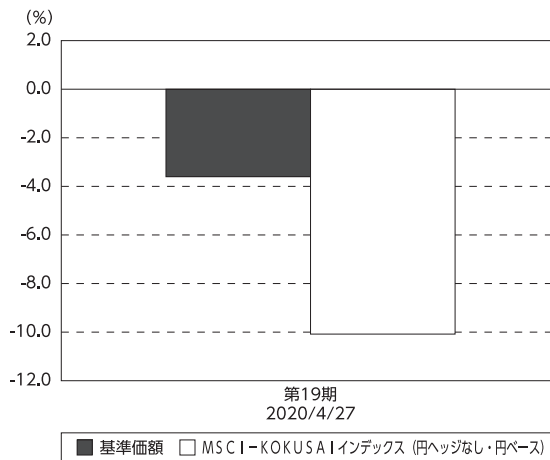
期間中における基準価額は、3.6%（分配金再投資ベース）の値下がりとなり、ベンチマークである「MSCI-KOKUSA Iインデックス（円ヘッジなし・円ベース）」の下落率10.1%を概ね6.5%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

<プラス要因>

- ・銘柄選択では、情報技術や一般消費財・サービスなどのセクターにおける銘柄選択がプラスに寄与したこと。
- ・セクター配分では、金融セクターやエネルギーセクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄与したこと。
- ・個別銘柄では、米国の大手半導体メーカー「Advanced Micro Devices」、米国の電子署名ソリューション会社「DocuSign」、米国の大手インターネット通販会社「Amazon.com」などのオーバーウェイトがプラスに寄与したこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI-KOKUSA Iインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択では、生活必需品や素材などのセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したこと。
- ・セクター配分では、公益事業セクターや生活必需品セクターのアンダーウェイトなどがマイナスに影響したこと。
- ・個別銘柄では、フランスの航空機および軍用機器メーカー「Airbus」、米国のスポーツ用品メーカー「Under Armour」のオーバーウェイト、米国のデジタル家電メーカー「Apple」のアンダーウェイトなどがマイナスに影響したこと。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2019年4月26日～ 2020年4月27日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.042%
当期の収益	—
当期の収益以外	10
翌期繰越分配対象額	18,437

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き(MSCI-KOKUSA I インデックス(円ヘッジなし・円ベース))を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なう方針です。原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年4月26日～2020年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 481	% 1.991	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(214)	(0.885)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(240)	(0.995)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(27)	(0.111)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.026	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(6)	(0.026)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.009	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.009)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	26	0.109	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(25)	(0.104)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	515	2.135	
期中の平均基準価額は、24,152円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

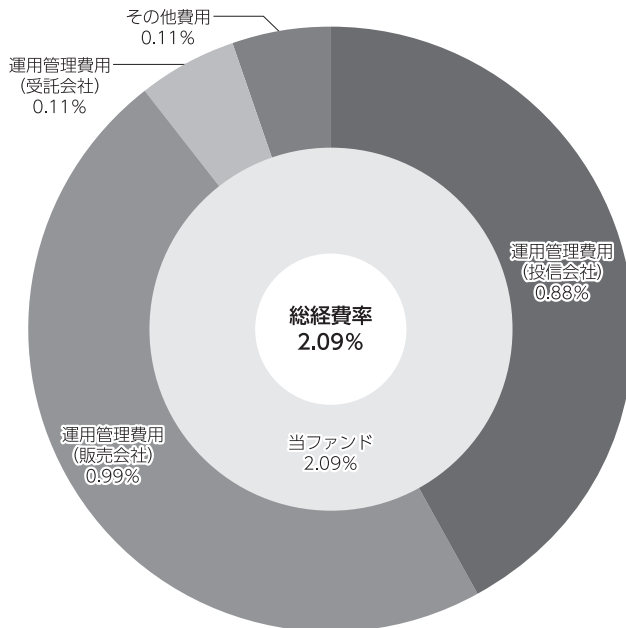
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.09%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年4月26日～2020年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	千口 118,090	千円 343,185	千口 59,465	千円 185,247

○株式売買比率

(2019年4月26日～2020年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,594,787千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,915,602千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.83

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月26日～2020年4月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年4月26日～2020年4月27日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年4月26日～2020年4月27日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年4月27日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	640,906	699,530	2,111,812

(注) 親投資信託の2020年4月27日現在の受益権総口数は、699,530千口です。

○投資信託財産の構成

(2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	2,111,812	95.7
コール・ローン等、その他	94,195	4.3
投資信託財産総額	2,206,007	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) ベスト・バランス/海外株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,115,318千円)の投資信託財産総額(2,121,884千円)に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=107.60円、1カナダドル=76.27円、1ユーロ=116.34円、1イギリスポンド=133.11円、1スイスフラン=110.46円、1スウェーデンクローナ=10.71円、1ノルウェークローネ=10.14円、1デンマーククローネ=15.60円、1オーストラリアドル=68.96円、1香港ドル=13.88円、1南アフリカランド=5.65円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,206,007,615
コール・ローン等	87,692,314
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド(評価額)	2,111,812,982
未収入金	6,502,319
(B) 負債	32,775,096
未払収益分配金	912,922
未払解約金	10,097,324
未払信託報酬	21,716,550
未払利息	94
その他未払費用	48,206
(C) 純資産総額(A-B)	2,173,232,519
元本	912,922,173
次期繰越損益金	1,260,310,346
(D) 受益権総口数	912,922,173口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,805円

(注) 当ファンドの期首元本額は821,226,324円、期中追加設定元本額は307,946,881円、期中一部解約元本額は216,251,032円です。

(注) 1口当たり純資産額は2.3805円です。

○損益の状況 (2019年4月26日～2020年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 19,641
支払利息	△ 19,641
(B) 有価証券売買損益	△ 13,647,522
売買益	21,218,866
売買損	△ 34,866,388
(C) 信託報酬等	△ 41,419,540
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 55,086,703
(E) 前期繰越損益金	446,135,175
(F) 追加信託差損益金	870,174,796
(配当等相当額)	(1,237,373,868)
(売買損益相当額)	(△ 367,199,072)
(G) 計(D+E+F)	1,261,223,268
(H) 収益分配金	△ 912,922
次期繰越損益金(G+H)	1,260,310,346
追加信託差損益金	870,174,796
(配当等相当額)	(1,237,961,328)
(売買損益相当額)	(△ 367,786,532)
分配準備積立金	445,222,253
繰越損益金	△ 55,086,703

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2019年4月26日～2020年4月27日の期間に当ファンドが負担した費用は9,201,445円です。

(注) 分配金の計算過程(2019年4月26日～2020年4月27日)は以下の通りです。

項 目	2019年4月26日～ 2020年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,237,961,328円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	446,135,175円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,684,096,503円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	18,447円
g. 分配金	912,922円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

○お知らせ

約款変更について

2019年4月26日から2020年4月27日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

ベスト・バランス／海外株式マザーファンド

運用報告書

第19期（決算日 2020年4月27日）
（2019年4月26日～2020年4月27日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2001年4月27日から原則無期限です。
運用方針	中長期的な観点から、「MSCI-KOKUSAIインデックス（円ヘッジなし・円ベース）」を上回る投資成果の獲得をめざします。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSAIインデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざします。

投資対象銘柄については、グローバルな視点で企業調査、比較を行ない、産業の先導的立場にある高い質の大型成長企業に厳選投資をします。また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減につとめます。

株式の組入比率は原則として高位を維持します。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行なうことがあります。為替ヘッジ比率は、マクロ環境、金利動向、ヘッジコストなどを勘案して決定します。また、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。

ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたときなどならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<935859>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	期騰落	中率	(ベンチマーク)	期騰落中率			
	円	%		%	%	%	百万円
15期(2016年4月25日)	19,023	△ 9.5	207.35	△ 9.7	95.6	1.7	1,899
16期(2017年4月25日)	22,119	16.3	233.88	12.8	97.1	1.7	2,071
17期(2018年4月25日)	26,886	21.6	262.68	12.3	95.6	1.6	2,402
18期(2019年4月25日)	30,853	14.8	293.37	11.7	96.9	2.8	1,977
19期(2020年4月27日)	30,189	△ 2.2	263.79	△10.1	93.9	3.1	2,111

(注)「MSCI-KOKUSAIインデックス」は、「MSCI Inc.」が発表している、日本を除く世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。(円ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2020年4月27日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 組入比率
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2019年4月25日	円	%		%	%	%
	30,853	—	293.37	—	96.9	2.8
4月末	30,849	△0.0	291.61	△ 0.6	97.0	2.7
5月末	28,615	△7.3	273.23	△ 6.9	96.1	3.0
6月末	29,762	△3.5	283.15	△ 3.5	93.8	2.9
7月末	30,771	△0.3	290.85	△ 0.9	93.9	2.8
8月末	28,738	△6.9	276.62	△ 5.7	93.8	3.3
9月末	28,946	△6.2	285.54	△ 2.7	93.4	3.3
10月末	30,290	△1.8	296.57	1.1	93.2	3.1
11月末	31,675	2.7	307.93	5.0	94.0	3.0
12月末	32,796	6.3	317.21	8.1	95.1	3.1
2020年1月末	33,139	7.4	317.77	8.3	95.0	3.0
2月末	31,122	0.9	292.89	△ 0.2	95.6	3.2
3月末	28,167	△8.7	249.30	△15.0	92.7	3.1
(期末) 2020年4月27日	円	%		%	%	%
	30,189	△2.2	263.79	△10.1	93.9	3.1

(注)騰落率は期首比です。

○運用経過

(2019年4月26日～2020年4月27日)

基準価額の推移

期間の初め30,853円の基準価額は、期間末に30,189円となり、騰落率は△2.2%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米中貿易摩擦の問題は期間を通じて市場にマイナスの影響を与えたものの、2019年10月の米中閣僚級協議における部分合意により過度な悲観が後退し、投資家心理が強気に傾いたこと。
- ・世界経済の下振れリスクに備えて、世界の主要中央銀行が金融緩和姿勢を強めたことが好感され、市場の下支えとなったこと。

<値下がり要因>

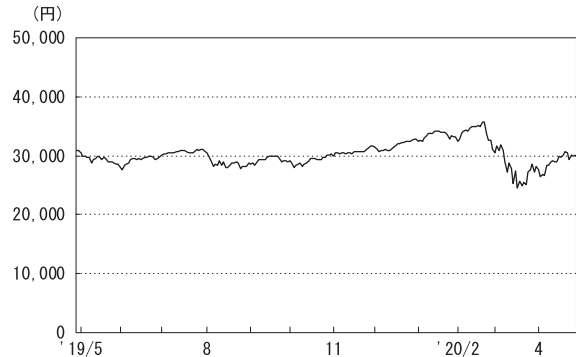
- ・米中貿易摩擦や世界景気の減速懸念、欧州や香港の政治的混乱によるリスクが意識され、先行き不透明感が重しとなったこと。
- ・新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大を背景に、世界経済への深刻な打撃が長期化することが懸念されたこと。また、供給過剰懸念から原油価格が大幅に下落したこと。

(株式市況)

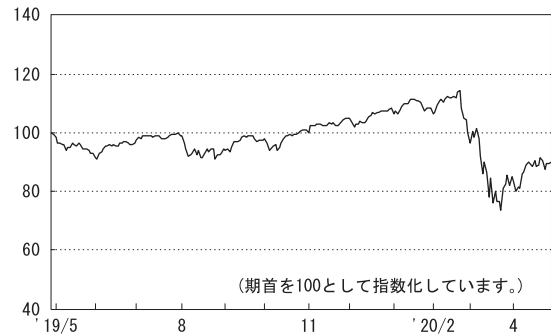
期間中のグローバル株式市場は、期間の初めと比べて下落しました。

期間の前半は、米国による対中制裁関税の引き上げなどを契機とした世界景気の減速の懸念、一方で主要中央銀行の金融緩和姿勢の強まりなど、強弱材料が交錯し、株価の変動が高まりました。その後、欧米の中央銀行による金融緩和観測を支えに上昇に転じた後は、米中貿易協議の進展期待から市場心理が好転するなか、堅調な米国の個人消費や企業業績などの好材料に強く反応する流れが続き、上昇基調で推移しました。また、世界経済の下振れリスクに備えて世界の主要中央銀行が緩和継続姿勢を表明したことから買いの安心感が広がり、指数は連日で過去最高値を更新しました。2020年1月下旬に中国で新型コロナウイルスの感染が確認されましたが、当初市場はこの感染症の流行を重要視していませんでした。その後、イタリアやイランなどアジア以外の地域

基準価額の推移



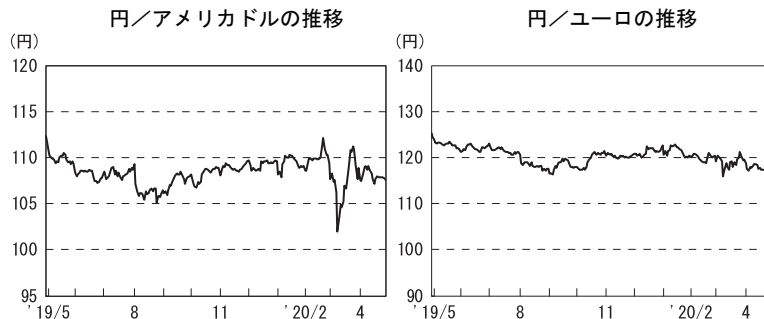
期首	期中高値	期中安値	期末
2019/04/25	2020/02/21	2020/03/17	2020/04/27
30,853円	35,700円	24,551円	30,189円

MSCI-KOKUSA I インデックス
(円ヘッジなし・円ベース) (指数化) の推移

における急激な感染拡大を受け、供給網の混乱や消費低迷による世界経済の減速懸念が台頭し、投資家心理は弱気に傾きました。3月に入ると、世界規模での感染拡大を背景に世界経済への深刻な打撃が長期化することが懸念されたこと、加えて供給過剰懸念から原油価格が大幅に下落したことを受け、リスク回避の売りが加速し急落、パニック売りが連鎖し歴史的な株価急落に見舞われました。これに対し各国政府が協調して緊急の大型景気刺激策を発表すると、これを好感した買いが下値を支え、期間末に向けて下落幅が縮小しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き(MSCI-KOKUSA Iインデックス(円ヘッジなし・円ベース))を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないました。銘柄選定においては、原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力しました。

また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、2.2%の値下がりとなり、ベンチマークである「MSCI-KOKUSA I インデックス(円ヘッジなし・円ベース)」の下落率10.1%を概ね7.9%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

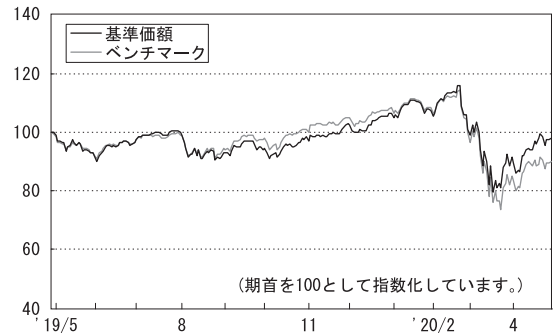
<プラス要因>

- ・銘柄選択では、情報技術や一般消費財・サービスなどのセクターにおける銘柄選択がプラスに寄与したこと。
- ・セクター配分では、金融セクターやエネルギーセクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄与したこと。
- ・個別銘柄では、米国の大手半導体メーカー「Advanced Micro Devices」、米国の電子署名ソリューション会社「DocuSign」、米国の大手インターネット通販会社「Amazon.com」などのオーバーウェイトがプラスに寄与したこと。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択では、生活必需品や素材などのセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したこと。
- ・セクター配分では、公益事業セクターや生活必需品セクターのアンダーウェイトなどがマイナスに影響したこと。
- ・個別銘柄では、フランスの航空機および軍用機器メーカー「Airbus」、米国のスポーツ用品メーカー「Under Armour」のオーバーウェイト、米国のデジタル家電メーカー「Apple」のアンダーウェイトなどがマイナスに影響したこと。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○今後の運用方針

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSA I インデックス（円ヘッジなし・円ベース）を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なう方針です。原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年4月26日～2020年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 8 (8) (0)	% 0.027 (0.027) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	3 (3) (0)	0.010 (0.010) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	33 (33) (0)	0.107 (0.107) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	44	0.144	
期中の平均基準価額は、30,405円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年4月26日～2020年4月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 851 (19)	千アメリカドル 6,305 (ー)	百株 930	千アメリカドル 5,369
	カナダ	78	千カナダドル 323	503	千カナダドル 361
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	22	33	123	170
	イタリア	63	50	15	13
	フランス	21	172	ー	ー
	オランダ	30	361	3	45
	スペイン	46	175	ー	ー
	ポルトガル	34	46	146	138
	国	イギリス	47	千イギリスポンド 126	304
スイス		14	千スイスフラン 90	27	千スイスフラン 189
スウェーデン		21	千スウェーデンクローナ 558	28	千スウェーデンクローナ 852
香港		159	千香港ドル 1,021	60	千香港ドル 720

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ	口	千アメリカドル	口	千アメリカドル
	AMERICAN TOWER CORP	207	46	255	59
	ISHARES MSCI TAIWAN-ETF	1,940	68	574	21
国	小 計	2,147	114	829	81

(注) 金額は受け渡し代金。

○株式売買比率

(2019年4月26日～2020年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,594,787千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,915,602千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.83

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月26日～2020年4月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年4月26日～2020年4月27日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2020年4月27日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	31	31	238	25,699	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMERICAN EXPRESS CO	23	29	242	26,131	各種金融
BANK OF AMERICA CORP	80	—	—	—	銀行
ALIBABA GROUP HOLDING-SP-ADR	15	18	369	39,778	小売
BLACKSTONE GROUP INC/THE -A	—	57	278	29,963	各種金融
BOSTON SCIENTIFIC CORP	44	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
CONSTELLATION BRANDS INC-A	12	16	266	28,711	食品・飲料・タバコ
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	15	11	261	28,182	ヘルスケア機器・サービス
GENERAL DYNAMICS CORP	12	—	—	—	資本財
HDFC BANK LTD-ADR	18	—	—	—	銀行
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	28	—	—	—	消費者サービス
HOME DEPOT INC	14	15	319	34,360	小売
LOCKHEED MARTIN CORP	8	8	308	33,150	資本財
MASTERCARD INC	12	14	373	40,204	ソフトウェア・サービス
NIKE INC -CL B	31	26	236	25,473	耐久消費財・アパレル
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	—	45	94	10,138	ソフトウェア・サービス
PENUMBRA INC	10	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
PINTEREST INC- CLASS A	46	—	—	—	メディア・娯楽
SALESFORCE.COM INC	22	27	424	45,628	ソフトウェア・サービス
SCHLUMBERGER LTD	52	—	—	—	エネルギー
SERVICENOW INC	15	9	279	30,053	ソフトウェア・サービス
SLACK TECHNOLOGIES INC- CL A	—	106	277	29,902	ソフトウェア・サービス
SPOTIFY TECHNOLOGY SA	16	18	248	26,756	メディア・娯楽
TD AMERITRADE HOLDING CORP	54	—	—	—	各種金融
THE WALT DISNEY CO.	—	25	254	27,416	メディア・娯楽
TJX COMPANIES INC	43	54	250	26,974	小売
UBER TECHNOLOGIES INC	—	99	293	31,594	運輸
UNDER ARMOUR INC-CLASS A	103	—	—	—	耐久消費財・アパレル
WAYFAIR INC- CLASS A	12	—	—	—	小売
ANTHEM INC	9	9	262	28,191	ヘルスケア機器・サービス
ADOBE INC	12	10	363	39,135	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	113	72	408	43,959	半導体・半導体製造装置
AMAZON.COM INC	4	4	1,193	128,373	小売
APPLE INC	—	28	805	86,684	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AUTODESK INC	16	—	—	—	ソフトウェア・サービス
BIOGEN INC	—	8	256	27,621	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BLUEBIRD BIO INC	12	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DOCUSIGN INC	—	22	237	25,516	ソフトウェア・サービス
PAYPAL HOLDINGS INC	37	33	404	43,526	ソフトウェア・サービス
ELECTRONIC ARTS INC	23	26	305	32,826	メディア・娯楽
FACEBOOK INC-CLASS A	13	23	453	48,817	メディア・娯楽
GILEAD SCIENCES INC	29	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALPHABET INC-CL C	5	3	397	42,810	メディア・娯楽
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	—	24	252	27,210	運輸
IDEXX LABORATORIES INC	—	6	164	17,752	ヘルスケア機器・サービス
INTUITIVE SURGICAL INC	1	4	253	27,315	ヘルスケア機器・サービス

銘柄	株数	金額	当期		業種等	
			株数	金額		
			株数	金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	68	122	331	35,710	半導体・半導体製造装置	
T-MOBILE US INC	37	49	452	48,733	電気通信サービス	
MICROSOFT CORP	52	56	993	106,885	ソフトウェア・サービス	
MONSTER BEVERAGE CORP	39	41	250	26,921	食品・飲料・タバコ	
NETFLIX INC	6	7	328	35,302	メディア・娯楽	
SEATTLE GENETICS INC	25	16	239	25,817	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SPLUNK INC	15	21	280	30,200	ソフトウェア・サービス	
TESLA INC	—	3	217	23,407	自動車・自動車部品	
YANDEX NV-A	64	44	159	17,129	メディア・娯楽	
SAMSUNG ELECTR REG S-GDR	—	2	203	21,843	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額	1,321	1,262	14,236	1,531,814	
	銘柄数<比率>	44	42	—	<72.5%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATL RAILWAY CO	24	27	305	23,337	運輸	
DOLLARAMA INC	—	63	276	21,101	小売	
ENCANA CORP	322	—	—	—	エネルギー	
FIRST QUANTUM MINERALS LTD	169	—	—	—	素材	
小計	株数・金額	516	91	582	44,439	
	銘柄数<比率>	3	2	—	<2.1%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
INFINEON TECHNOLOGIES AG	101	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額	101	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
(ユーロ…イタリア)						
DAVIDE CAMPARI-MILANO SPA	215	263	175	20,454	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	215	263	175	20,454	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.0%>	
(ユーロ…フランス)						
SCHNEIDER ELECTRIC SE	—	21	170	19,831	資本財	
小計	株数・金額	—	21	170	19,831	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.9%>	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV	—	7	187	21,843	半導体・半導体製造装置	
AIRBUS GROUP SE	19	31	166	19,406	資本財	
FERRARI NV	17	17	252	29,327	自動車・自動車部品	
HEINEKEN NV	17	25	190	22,201	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	54	81	797	92,779	
	銘柄数<比率>	3	4	—	<4.4%>	
(ユーロ…スペイン)						
CELLNEX TELECOM SA	—	46	228	26,573	電気通信サービス	
小計	株数・金額	—	46	228	26,573	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.3%>	
(ユーロ…ポルトガル)						
GALP ENERGIA SGPS SA-B SHRS	112	—	—	—	エネルギー	
小計	株数・金額	112	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
ユーロ計	株数・金額	484	412	1,372	159,638	
	銘柄数<比率>	6	7	—	<7.6%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
ASTRAZENECA PLC	34	36	299	39,859	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BHP GROUP PLC	100	—	—	—	素材	

銘柄	株数	株数	当期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス) DIAGEO PLC JUST EAT PLC	百株 63 172	百株 77 —	千イギリスポンド 205 —	千円 27,304 —	食品・飲料・タバコ 小売
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	371 4	113 2	504 — <3.2%>	
(スイス) JULIUS BAER GROUP LTD NOVARTIS AG-REG CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	50 31 18	50 36 —	千スイスフラン 170 312 —	18,855 34,566 —	各種金融 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 耐久消費財・アパレル
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	100 3	86 2	483 — <2.5%>	
(スウェーデン) ASSA ABLOY AB-B ATLAS COPCO AB-A SHS	80 60	86 47	千スウェーデンクローナ 1,644 1,653	17,608 17,713	資本財 資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	141 2	134 2	3,298 — <1.7%>	
(香港) PING AN INSURANCE GROUP CO-H SANDS CHINA LTD SUNNY OPTICAL TECH TENCCENT HOLDINGS LTD	195 364 136 55	190 465 137 54	千香港ドル 1,475 1,439 1,465 2,214	20,482 19,979 20,343 30,742	保険 消費者サービス テクノロジー・ハードウェアおよび機器 メディア・娯楽
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	750 4	848 4	6,595 — <4.3%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,684 66	2,948 61	— — <93.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

銘柄	口数	口数	当期末		比率
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) AMERICAN TOWER CORP ISHARES MSCI TAIWAN-ETF	口 1,663 4,600	口 1,615 5,966	千アメリカドル 395 210	千円 42,506 22,699	% 2.0 1.1
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	6,263 2	7,581 2	606 — <3.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1,983,347	93.5
投資信託受益証券	22,699	1.1
投資証券	42,506	2.0
コール・ローン等、その他	73,332	3.4
投資信託財産総額	2,121,884	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産 (2,115,318千円) の投資信託財産総額 (2,121,884千円) に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=107.60円、1カナダドル=76.27円、1ユーロ=116.34円、1イギリスポンド=133.11円、1スイスフラン=110.46円、1スウェーデンクローナ=10.71円、1ノルウェークローネ=10.14円、1デンマーククローネ=15.60円、1オーストラリアドル=68.96円、1香港ドル=13.88円、1南アフリカランド=5.65円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,132,704,319
コール・ローン等	72,427,186
株式(評価額)	1,983,347,144
投資信託受益証券(評価額)	22,699,054
投資証券(評価額)	42,506,858
未収入金	10,824,182
未収配当金	899,895
(B) 負債	20,886,946
未払金	14,384,624
未払解約金	6,502,319
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	2,111,817,373
元本	699,530,618
次期繰越損益金	1,412,286,755
(D) 受益権総口数	699,530,618口
1万口当たり基準価額(C/D)	30,189円

(注) 当ファンドの期首元本額は640,906,419円、期中追加設定元本額は118,090,144円、期中一部解約元本額は59,465,945円です。

(注) 2020年4月27日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・年金積立国際・グローバル・ファンド 699,530,618円

(注) 1口当たり純資産額は3,0189円です。

○損益の状況 (2019年4月26日～2020年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	19,813,515
受取配当金	19,115,339
受取利息	439,644
その他収益金	260,320
支払利息	△ 1,788
(B) 有価証券売買損益	△ 41,155,794
売買益	279,253,242
売買損	△ 320,409,036
(C) 保管費用等	△ 2,179,751
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 23,522,030
(E) 前期繰越損益金	1,336,494,956
(F) 追加信託差損益金	225,095,463
(G) 解約差損益金	△ 125,781,634
(H) 計(D+E+F+G)	1,412,286,755
次期繰越損益金(H)	1,412,286,755

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2019年4月26日から2020年4月27日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。